

いきいき子ども！  
あたたか家族！  
はつらつ先生！  
地域が支える  
教育の板橋

# 教育の板橋

学び合う、  
学び続ける  
人づくり！  
地域を創る  
教育の板橋

## こんなに忙しいの!?学校の先生

～学校における働き方改革を推進しています～

問 合

教育総務課学校職員係  
☎3579 - 2606

下表は、板橋区立小中学校で勤務する教職員の月当たりの時間外労働の状況を表しています。区教育委員会では、教職員の月当たりの時間外労働の上限を「45時間(原則)」と定めていますが、令和3年度に、45時間を超えて時間外労働を行った教職員は、小学校で20.1%、中学校で28.4%という状況でした。

これまで学校では、「子どものため」という合言葉のもと、社会の様々な要請を受けながら、熱意や使命感ある教職員が、子どもに関わる多くの業務を担ってきました。

しかし、長時間労働によって教職員が心身ともに疲労した状態では、より良い教育を行うことが難しくなります。また、教職員の働く環境が厳しい状態であれば、意欲や能力のある若者が教師を志さなくなり、将来的に学校教育の質の低下を招くことにもなりかねません。

そこで、教職員のこれまでの働き方を見直し、限られた時間の中で、子どもたちに質の高い教育活動を行えるようにするために、学校における働き方改革を推進しています。

### ●令和3年度における教職員の月あたり時間外労働の状況

	45時間未満	45時間以上 80時間未満	80時間以上 100時間未満	100時間以上
小学校	79.9%	17.6%	2.0%	0.5%
中学校	71.6%	22.3%	3.9%	2.2%



## 働き方改革の主な取組

### 学校電話自動応答装置の導入

区立の全小中学校において、電話自動応答装置を導入し運用しています。自動応答に切り替わる時間は各学校によって異なりますが、いただいたご連絡への応答が自動音声による対応となる場合がございますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

### スクール・サポート・スタッフの配置

教職員に代わって、プリントの印刷や授業準備の補助、教室等の消毒作業などを行う人材としてスクール・サポート・スタッフを全校へ配置しています。



### 学校閉庁日の設定

夏季休業期間中に平日5日間以上の学校閉庁日を設定することで、教職員の休暇取得を促進し、心身ともにリフレッシュできる機会の一助としています。



### 定時退勤日の設定

定時退勤日を設定することにより、勤務時間を意識した働き方を行い、時間内労働に向けた職場環境を整備しています。  
(教職員の標準的な勤務時間)  
例：8:15～16:45



### 副校長補佐の配置

多忙な副校長の業務をサポートする人材として、令和4年度から副校長の仕事の補佐する人材を区立小中学校10校に配置しています。



### 業務改善モデル校の取組

業務改善モデル校を選定し、教育委員会事務局職員がモデル校とともに業務改善を行うことにより、現場の実態に即した業務改善の手法を学校とともに見出し、実行していきます。



### 欠席連絡の電子化

これまで電話連絡により行われていた欠席連絡を電子化することにより、教職員および保護者双方の負担軽減を図っています。



### ご家庭等へのお知らせの電子化

これまで、紙媒体にて配布・周知を行っていた、お便りやチラシなどの様々なお知らせについて、お手持ちのスマートフォン等へ配信を行っています。(配信状況は各校によって異なります)

## 部活動改革について

国において、部活動の地域移行に関する検討会議が開催され、令和5年度の開始から令和7年度末を目途に、まずは、休日の部活動を段階的に地域移行していくという改革の方向性が打ち出されました。



現在、区教育委員会でもこの課題について、検討を始めています。

## 子ども好きのあなた!学校で働いてみませんか?

学校生活支援員として板橋区内の小中学校の通常の学級や特別支援学級で働く人を募集しています。

### こんな人を募集しています

- ・学校で子どもと関わりたい!
- ・保育園や介護の経験を活かしたい!
- ・教育現場での経験を積みたい!
- ・先生たちの力になりたい!

### 仕事の内容は?

- ・衣服の着脱等の生活上の支援
- ・集団行動が苦手な児童・生徒への個別の声掛け
- ・児童、生徒の安全保持や見守り学級運営上の支援等
- ・車いす等を利用する児童・生徒の介助等

問 合

指導室特別支援教育係  
☎3579 - 2612



学校訪問の様子を公開しています

教育長や教育委員会の職員が訪問した学校の様子を随時区ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。スマートフォン・携帯電話で読み取り、区ホームページへ



▽問合=教育総務課庶務係  
☎3579 - 2603

# 志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校、上板橋第一中学校改築計画 基本構想・基本計画を策定しました

## ■志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校改築計画 基本構想・基本計画を策定しました。

区教育委員会は、志村小学校の学校施設老朽化に伴い「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校として、令和元年6月に対象校対応方針を公表しました。その後、「魅力ある学校づくり協議会(志村小)」、「魅力ある学校づくり協議会(志村小・志村四中)」において協議を重ね、「志村小学校と志村第四中学校とを小中一貫型の学校として整備する」方向で協議会としての「意見書」がまとめられ、区教育委員会ではこの「意見書」を最大限尊重して整備していくことを決定しました。

令和3年2月には「志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会」を設置して、小中一貫型学校の設置に向けた具体的な検討を行っています。また、改築後における新校舎の基本構想・基本計画として「志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校改築計画 基本構想・基本計画」を令和4年7月7日に策定しました。

新校舎の「めざすべき学校像」や建物配置を決定するため、施設状況や周辺環境などの現状整理を行い、学校関係者・地域を対象としたアンケートや、志村小・志村四中 小中一

貫型学校設置検討会委員、教職員、児童・生徒で実施したワークショップ等が出された意見等を踏まえ、「基本構想・基本計画報告書」をまとめました。今後は、この基本構想・基本計画を踏まえて基本設計・実施設計を進めて参ります。

## ■上板橋第一中学校学校改築計画 基本構想・基本計画を策定しました。

区教育委員会は、上板橋第一中学校の学校施設老朽化に伴い「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校として、令和元年6月に対象校対応方針を公表しました。その後、コミュニティ・スクール(CS)委員会や関係支部町会の会議等において対応方針の説明・意見交換を行い、改築の方向で検討していくことを決定しました。

令和3年10月には「上板橋第一中学校改築検討会」を設置して、校舎改築に向けた具体的な検討を行っています。また、改築後における新校舎の基本構想・基本計画として「上板橋第一中学校改築計画 基本構想・基本計画」を令和4年7月7日に策定しました。

新校舎の「めざすべき学校像」や建物配置を決定するため、施設状況や周辺環境などの現状整理を行い、学校関係者・地域を対象としたアンケートや、上板橋第一中学校改築検討委員、教職員、児童・生徒で実施したワーク

ショップ等が出された意見等を踏まえ、「基本構想・基本計画報告書」をまとめました。今後は、この基本構想・基本計画を踏まえて基本設計・実施設計を進めて参ります。

## 基本構想・基本計画とは・・・

建物の設計や工事を進める上での基本的な考えや方針を示すものです。

この基本構想・基本計画では、学校施設の計画目標や建物規模、配置計画を示しています。

基本構想・基本計画 報告書をホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。



志村小学校・志村第四中学校



上板橋第一中学校



志村小学校5年生ワークショップの様子

問合

新しい学校づくり課学校整備係  
☎3579-2632

## 小・中学校の新入学のご案内を配付します

区内在住で、令和5年4月に区立小・中学校に入学予定の方に、新入学手続きをはじめ、各小中学校の基本情報などを掲載した「新入学に関するご案内」を配付します(新小学1年生には郵送で、区立小学校に通う6年生には在学期間で、9月上旬に配付予定)。

### ●通学区域の学校への入学を原則とします

区では、住所ごとに入学する学校が指定される通学区域を定め、通学区域の学校を入学予定校としてお知らせしています。通学区域の学校へ入学する場合は、手続きなしで優先して入学できます。

### ●通学区域外の学校へ入学を希望する場合は、手続きが必要です

理由があって入学予定校の変更を希望する場合は、学務課(区役所北館6階⑭窓口)、区立小中学校(新小学1年生の書類は区立小学校のみ)、区ホームページにある入学予定校変更希望願に必要な事項を記入のうえ、お申し込みください。変更希望の理由が一定の基準に該当した場合、変更希望は認められますが、希望者多数で抽選となる場合もあります。手続きについての詳細は、「新入学に関するご案内」をご覧ください。

### ●入学予定校を変更する場合は慎重に検討してください

変更する学校が入学予定校より遠くなる場合、登下校の時間が負担となるだけでなく、下校後や休日に友達と遊ぶ場所も自宅周辺ではなく、離れた場所になります。

変更を希望する場合は、学校公開や学校ホームページなどで学校についてご確認のうえ、通学時の安全性など様々な観点から慎重に検討してください。

### ●変更希望できる学校の範囲

- ・小学校…通学区域に隣接する区域の学校(適用除外校を除く)
- ・中学校…区内全域

### ●申込・締切

直接または郵送で、学務課学事係  
(区役所北館6階⑭窓口、〒173-8501板橋区板橋二丁目66番1号)  
郵送する場合は9月29日(木)消印有効、直接持参する場合は9月30日(金)17時まで

問合

学務課学事係 ☎3579-2611

## 朝ごはんをしっかりと食べよう



板橋区食育キャラクター  
いたばち

みなさんは朝ごはんを毎日食べていますか？朝ごはんを食べると、眠っている間に下がっていた体温が上がり、脳や体にエネルギーが補給されて、1日を元気に過ごすことができます。

### 食べる習慣がない人

まずは主食(ごはん、パン、麺類)を食べることから始めてみましょう。おにぎりから始めてみるのはいかがでしょうか。

### 主食を食べている人

主菜(肉や魚、たまご、大豆などが入ったメインになるおかず)、副菜(野菜、いも、きのこ、海藻などが入ったおかず)、果物、牛乳・乳製品から食べやすいものを1品プラスしましょう。

### 主食+1品食べている人

さらに1品追加しましょう。

主食・主菜・副菜をそろえると栄養バランスが整いやすくなります。



## 家庭でもカルシウム・鉄を積極的にとろう

学齢期の体重増加は骨や筋肉などの体の成長に必要なことです。無理なダイエットをすると貧血、さらに将来的には骨粗しょう症になることもあるため注意が必要です。成長に欠かせないカルシウムと鉄をしっかりととりましょう。

### ●カルシウムを多く含む食べ物

牛乳・乳製品、小魚、干しえび、大豆製品、大根・かぶの葉、モロヘイヤ、小松菜、ごまなど

### ●鉄を多く含む食べ物

あさり、レバー、赤身の肉や魚、大豆製品、青菜、枝豆など

問合

学務課学校給食係 ☎3579-2617

# 板橋区コミュニティ・スクール(iCS) ～地域とともにある学校をめざして～

## ■板橋区コミュニティ・スクール(iCS)について

iCSは、コミュニティ・スクール委員会(CS委員会)と学校支援地域本部を両輪・協働の関係で運営し、教育活動を支援する仕組みで、令和2年度より区内区立全小中学校で導入しています。

iCSの仕組みを活用し、様々な取組を学校・家庭・地域が一体となって行うことにより、「子どもたちのより豊かな学びの実現」や「先生が子どもたちに向き合う時間や授業づくりのための時間の確保」などにつなげ、「地域とともにある学校」をめざします。

## ■緑小学校iCSの取組を紹介します

### ～ビオトープの完成に至るまで～

緑小学校では、校庭の改修工事に伴い、学校敷地内にビオトープの土台が設置されました。

当時の5年生(現6年生)が、総合的な学習の時間において「ビオトープの未来図(名称、

看板デザイン、呼びたい生き物・そのために必要な植物等)」を考え、子どもたちからCS委員に看板作成などの協力を依頼しました。

CS委員は、子どもたちの想いをくみ取り、熟議を重ね、「児童の願いを実現させるために地域がバックアップしていこう」「学校支援地域本部が調整役となり、体制を整えていこう」と決めました。そして、地域の自然に詳しい方からお話をうかがったり、地域の木工クラブ・陶芸ク



ビオトープの看板



ドジョウの隠れ家



看板作成の様子

ラブの方々にご協力いただいたりし、目印となる看板と、ドジョウの隠れ家となる筒(焼き物)が完成しました。

4月に行われたビオトープ完成お披露目式では、これまで関わってくださった多くの地域の方々が見守る中、テープカットが行われました。ビオトープを通して、自然のつながりだけでなく、人と人のつながりをもち、「地域とともにある学校」の実現に向けて進んでいっしやる様子が見られた、緑小学校のiCSでした。

## ■iCSフォーラムを開催しました

7月22日(金)に、iCSフォーラムをオンラインで行いました。

CS委員、地域コーディネーター、学校長がオンライン上で一堂に会し、各校のiCSの状況等について、情報交換を行いました。

※iCSフォーラムは、12月31日までアーカイブ配信を見ることができます。ぜひご覧ください。



問 合

地域教育力推進課地域連携係 ☎3579 - 2619

# 出かけませんか?地域の図書館 ～西台図書館～

地域の図書館は全部で10館ありますが、それぞれに異なる魅力・特色があります。今回は、西台図書館をご紹介します。

## ■どんな絵本かな?!児童コーナー

このアーチに描かれているのは、どの絵本かな?さがしてみましよう!

アーチの向こうには電車や車の本、わくわくするおはなしがたくさん!気になる本を見てみましょう!

ゆったり児童コーナーで待っています!



板橋区立図書館  
トップページ

## ■これって、どうしよう?

### 解決のヒントは図書館に

夜遅くなった時のご飯、部屋の片づけ、子どもの食育どうしよう?...生活のちょっとしたお悩みをなんとかしたい、そんなときは図書館でヒントを見つけませんか? 「こんなことが載っている本が見たい!」というお問い合わせはカウンターのスタッフへおたずねください。

インターネットからの予約で、区内全館の本やCDなどを取り寄せられます。

問 合 西台図書館 ☎5399 - 1191

# 電子音楽配信サービスが 始まりました



## クラシック音楽がいつでもどこでも聴き放題

板橋区の図書館では、令和4年4月1日から電子音楽配信サービスを開始しました。

板橋区に在住の方であれば、お手持ちのPCやスマートフォンでいつでもどこでもクラシック音楽を楽しむことができます。

詳しくは図書館ホームページ「利用案内」のページをご覧ください。最寄りの図書館へお問い合わせください。



問 合

中央図書館読書推進係  
☎6281 - 0291

# 区立中学校の生徒がほっとできる居場所を紹介します!

問 合 教育総務課計画係  
☎3579 - 2639

区立中学校では、「多様性を踏まえた学びを保障すること」を目的に、教室以外の居場所の設置を進めています。

## 板橋第五中学校「ごっちゃんルーム」

「ごっちゃんルーム」と呼ばれる、どの生徒も安心して学校内で過ごすことができる居場所を設置しています。【ちょっと教室には入りづらい】、【教室で頑張っていたけれど、ちょっと息抜きをしたい】といった時に活用できます。大学生のボランティアや担当の教員が在室しており、勉強のサポートだけでなく、話し相手などにもなってくれます。

生徒の特性を考慮し、居心地よく学校生活を過ごせるよう、生徒本人の希望や気持ちを丁寧に聞き取りしながら、生徒の気持ちを第一に考えて対応する体制づくりを進めています。



## 志村第五中学校「ほっと ルーム」

「ほっと ルーム」と呼ばれる、どの生徒も安心して学校内で過ごすことができる居場所を設置しています。【教室にいるのがつらい】、【なんとなく教室に入りたくない】、【集団の中だと疲れてしまう】といった時に活用できます。大学生のボランティアや地域のボランティアの方と一緒に勉強だけでなく、【ぼーっとする】、【読書をする】、【絵を描く】など、自分のペースで興味・関心があることをしながら過ごすことができます。

生徒が「ほっと ルーム」でほっと一息つくことで、無理なく学校生活を過ごすことができるよう取組を進めています。



教育広報への意見を募集します

より良い広報紙作成のため、みなさんからのご意見・ご提案を募集します。

▽提出方法=郵送・FAX・Eメール ▽問合=教育総務課庶務係(〒173-8501)  
☎3579 - 2603 ☎3579 - 4214 ✉kyosho@city.itabashi.tokyo.jp

# 学校の今と昔

—区制90周年と教育委員会成立70周年—

問 合

生涯学習課文化財係  
☎3579-2636

## 祝90周年と70周年

今年、昭和7年(1932)10月1日に板橋区が誕生してから90年がたちます。また、明治5年(1872)に太政官から学制が布告され、全国に学制が敷かれてから150年、昭和27年10月5日に板橋区教育委員会が成立してから70年の節目です。この機会に学校の今と昔を比べてみましょう。

## 江戸時代の学校

明治時代に公立学校ができる前の江戸時代は、学校の代わりに「読み・書き・そろばん」を教える「寺子屋」があり、師匠と呼ばれる人が子どもたちを教えていました。いくつかの寺子屋は、明治時代に学制が公布されると小学校へ変わりました。明治7年には板橋学校(現板橋第一小学校)と紅梅学校(現紅梅小学校)が設立され、同9年には上板橋学校(現上板橋小学校)が設立されました。この3校が区内で最も早い時期にできた学校です。明治初期にできた学校では、地域の有力者が学務委員として地域の教育に関わり、金銭的な援助など学校の運営に関わりました。このように古くからある学校は、地域の方々の熱い想いに支えられ成り立っていました。

こうした地域の想いを学校の方針に反映する仕組みは、現在の板橋区コミュニティ・スクールの考え方に通じるものがあります。

## 明治・大正の教員

では、昔の学校の写真と今の学校の様子を比べてみましょう。紅梅小学校には、大正15年(1926)の教職員の写真が残されています(写真A)。学制公布直後の教員は、寺子屋で教えていた師匠や教員講習所で短期間の講習を受けた者、師範学校の卒業者など、様々な経歴を経た人たちで構成されていました。それでも正規の教員は不足していたため、多くの授業生や雇教員(後に代用教員)が授業を行いました。

現在の学校でも、正規の教員だけでなく、学力向上専門委員や学校生活支援員といった方々に支えられ、質の高い授業が行われています。



A 紅梅小学校の教職員(大正15年)【紅梅小学校所蔵】



B 上板橋村尋常高等小学校(昭和2年5月15日)【郷土資料館所蔵】

## 上板橋小学校の校舎

上板橋小学校に関する資料として、昭和2年における上板橋村役場の新築開庁記念絵葉書に校舎の写真があります(写真B)。当時は、役場と並んで学校の存在が地域の誇りであったことがうかがえます。明治40年頃の校舎の改装では、教室の窓を障子からガラス戸に替え、子どもたちは大いに喜び、勉強にも力が入ったそうです。新しい学習環境には大きな教育的効果があったと伝えられています。

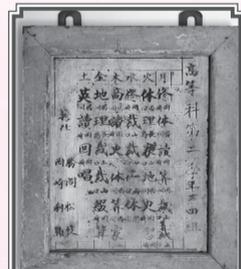
現在も学校の改築で「みどりと文化の交流協定」を結ぶ日光市のスギやヒノキを使用するなど、木の温もりに包まれたあたたかみのある学習環境づくりを進めています。また、オープンスペースを多く取り入れ、中学校では教科センター方式を採用し、教科ごとに教室を移動することで子どもたちの学びに向かう気持ちを高め、確かな学力の定着と向上をめざしています。

## 戦前の時間割

また、上板橋小学校には昔の時間割が残されています。授業内容は、綴り方、読み方、算術、図画、体操、修身(道徳)、唱歌、国史、地理、理科、手工(男)・裁縫(女)、世界地理、農業でした。時間割の略語からは、習字や商学(簿記)、英語も学んでいたことがうかがえます。なお、この時間割(写真C)が高等小学校2年生のもの(明治40年から昭和16年の制度)であれば、現在の中学校2年生にあたります。学制の公布当時から英語も授業科目に取り入れられていましたが、昭和16年の太平洋戦争の開始から同20年の終戦にかけて、英語は敵国語として廃止されていたようです。

## 給食のはじまり

皆さんになじみのある給食は、戦前から実施されていました。板橋第三小学校では、昭和8年に区内最初の給食施設を設けたことが記録されています。戦時中は学校給食が一時中断しましたが、昭和22年に給食が開始されました。同33年には「学校給食用牛乳取扱要領」により、給食に出されていた脱脂粉乳が牛乳へと変わりました。区内



C 上板橋高等小学校の時間割(戦前)【上板橋小学校所蔵】



D 板橋第三中学校のミルク給食(戦後)【板橋区公文書館所蔵】

では、同38年に中学校でミルク給食が始まりました(写真D)。

現在、区では給食の機会を捉え食育の推進に努めています。

## オリンピックとプール

夏の楽しみであるプールは、東京オリンピックと同年の昭和39年に「体育施設整備5か年計画」が出されたことにより、昭和40年頃を境に急速に学校に作られていきました(写真E)。

区内では、敷地面積の問題から、校舎の屋上にプールが設置されていることが多いようです。

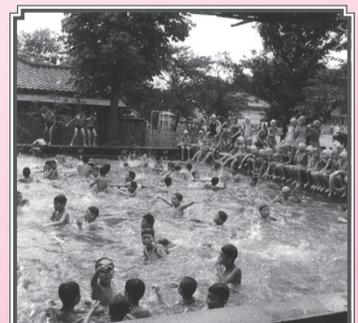
## 教育委員会制度の歴史

再び、教育の歴史に戻ります。昭和20年の太平洋戦争後、まもなくアメリカから派遣された教育使節団と日本側の委員が提出した報告書に基づき、日本の教育方針が決まりました。この概要を記すと、民主的な教育の基本は、個人の価値と尊厳を認め、個人の能力と適性に応じて教育の機会を与え、国が一律に教育の内容や方法・教科書を決めることなく、学校や教師の自由を認めるべきとまとめられています。この報告書をもとに教育に関する法律が制定され、「教育を受ける権利」・「教育を受けさせる義務」・「教育の無償化」が定められました。

こうして戦前・戦中期の教育制度に対し、民主的な教育理念・教育方法を整える中で、教育委員会が成立しました。政治的中立性、継続・安定性、地域住民の意向を反映させることを目的に、教育委員会制度に関わる法律の改正を経て、現在の板橋区教育委員会も生まれています。板橋区教育委員会は、委員会を代表する教育長と4人の教育委員による合議制の行政委員会として運営されています。

## 学校のことを調べてみよう

ここまでは、今と昔を比べながら、学校の歴史を見てきました。今も昔も、学校の成立や改革には、地域的な課題の解決や願いが込められていることがお分かりいただけたでしょうか。この記事を見て、自分が通う、あるいは通っていた学校のことを調べてみたくなったら、記念誌を読むことをおすすめします。それぞれの学校の記念誌は、概ね10年を1つの節目として、各学校で作られており、中央図書館や地域の図書館のほか、公文書館などで見ることができます。自分が住んでいる地域の歴史を学校の歴史から学んでみてはいかがでしょうか。



E 板橋第一小学校のプール(昭和40年代)【板橋区公文書館所蔵】

教育に関する  
広報紙

教育広報「教育の板橋」は1・4・9月に発行しております。また、奇数月には、「いたばし教育チャンネル」を発行し、教育委員会が行っている事業等について情報発信しております。区ホームページでご覧いただけます。

教育広報



いたばし  
教育チャンネル



▽問合せ=教育総務課庶務係  
☎3579-2603